

きずな

平成30年 第52号
 社会福祉法人 賀光会
 救護施設 賀光寮
 障害福祉サービス事業所
 (生活介護) ポプラ
 発行人: 川端 健高
 藤井寺市藤井寺4-11-8
 TEL 072-955-0653
 FAX 072-955-0905
 E-mail: gakoukai@m5kcn.ne.jp
<http://www5kcn.ne.jp/gakoukai>



* 本号のきずなは、年賀状の代わりにもさせていただきます。ありがとうございます。

あけまして
 おめでとう
 平成30年
 丁酉

新年ご挨拶

支援課補佐 野崎 浩司

新年あけましておめでと
 うございます。

平成も30年を迎えまして、

いろんなことが変わって
 いきそうな予感がいたし
 ます。天皇陛下の退位が決
 定し、憲法の改正が謳われ、
 改正社会福祉法施行から
 一年がたちました。平成29
 年の干支は、丁酉(ひのと
 とり)でした。「酉」は、果
 実が実った状態を、「丁」
 は安定を表すとされます。
 平成30年の干支は、戊戌(こ
 じゆつ)で、この年に生ま
 れた人は自立心が強く、努
 力を惜しみません。さらに
 協調性と柔軟性を併せ持
 っているため困難な状況
 でも決してめげずにやり
 遂げる力を持っている。し
 かし、その反面、気になる
 ことがあると後先考えず
 突っ走ってしまうことが
 あるようです。

今年、昨年とは反対に
 安定から変革の年になり
 そうです。

戊戌で浮かぶのは、戊
 辰「ではないでしょうか？
 150年前の明治維新こそが
 「戊辰」の年であり、戊辰
 戦争で時代は一気に革新
 されました。ちよんまげ頭
 から散切り頭に替わり、因
 循姑息から文明開化の時
 代となりました。福祉も改
 正社会福祉法の施行から、
 今までとは違った革新的
 なものに生まれ変わって
 いくことになりそうです。
 成り立つかどうか疑問で
 あった明治維新も、志士た
 ちが突っ走ったおかげで
 成立しました。

平成30年も混沌とした
 時代になるでしょうが、戊
 戌の性格をもって突っ走
 っていきたいと思ってお
 ります。

日帰り旅行 〜なつかしいなあ〜

支援員 岸 瑞記

11月15日、ほの字の里コースは、6人の利用者の方が参加されました。当日は天気に恵まれ、絶好の旅行日和となりました。

ほの字の里は、廃校となつた小学校を改装した施設で、どこか懐かし感じを思いだす場所でした。

到着後、場内をしばらく散策したのちに、昼食で、焼き肉を食べました。空気のきれいなところで食べる焼肉は、とてもおいしく、

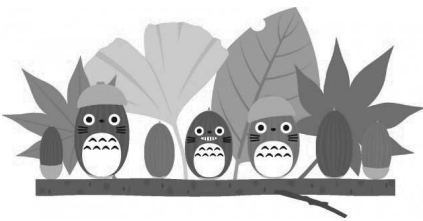


みんな笑顔で集合写真！



それじゃあ、今から、温泉に行きましょうか！

食がすすんだようで、もうちよつと量があつても良かったなという声が多数聞かれました。
食事の後は、散策と入浴に別れて行動しました。



さあ、バーベキュー!! 焼いて食べるぞー!

浴室は、程よい広さで温泉も気持ちよいものでした。露天風呂から見る景色は、紅葉のシーズンで大変きれいでした。温泉を利用された方は、いい景色やな」と感想を言われていました。
帰りの道中では、道の駅（いずみ山愛の里）に寄り、コーヒーをいただき、ゆつたりとした時間を楽しみました。
次年度、参加された方に、参加してよかったと言つていただける日帰り旅行を企画していきます。

居宅訓練事業

支援員 和田 浩一

居宅生活訓練事業とは、介護施設が行う事業の一つです。地域で生活できるように調理、清掃、買い物等の生活全般を利用者の方自身で行い、また、体調管理等ができるよう支援しています。

賀光寮で事業が始まって5年になりますが、その間に9人の方が利用され、そのうち6人の方が地域生活に移行されました。

現在、2人の利用者の方が利用され、地域移行を目標に日々、居宅生活訓練場所のワンルームマンションで、日常生活を送られています。

一旦、介護施設に入所された方が、もう一度地域で生活するにあたって、いろいろな課題が見えてきます。利用者の方々の地域移行がスムーズに行えるように、今後も私達職員は、日々、利用者の方と話し合い、どのような支援が必要かを考えていきます。



お風呂は、トイレと別になってます



キッチンにはIHです
乾燥機はありませんが、洗濯機も設置しています



エアコンは、もちろんのこと、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、トースターは、部屋に準備しています

日帰り旅行 〜お腹も心も満足〜

支援員 宮端 誠

平成29年11月22日(水)

に、箕面温泉スパガーデンに行つてきました。箕面温泉スパガーデンは、毎年大人気で利用者の方からは、何度でも行きたくなると言われます。去年参加された利用者の方で、今年もこのコースを選ばれた方が多くいました。この日は、少し肌寒い日でしたが、去年同様さわやかな秋晴れでした。賀光寮を出発し、交通状態もよく、予定していた時間よりも早く



バイキングのメニューは何だろう～？

到着し、昼食まで時間があつたので、先に30分程度館内を散策していただきました。散策中、お土産を見て楽しまれていました。昼食は、去年は、ホールで一般の方と混ざつてのバイキングでしたが、今年、個室を借りて、大皿に盛りられた料理をバイキング方式でいただきました。配膳された料理を見て、利用者の皆さん「おいしい。」と言いなながら、笑顔で食べられています。昼食が終われば、楽しみにされていたお待ちかねの温泉と大衆演



この料理、おいしいわあ～！

です。大衆演劇を鑑賞している時には、舞台の俳優さんに突っ込みを入れて楽しまれていたり、展望台や周囲を散策し、風景を楽しまれている方、温泉に浸かりリラククスされている方、土産物屋で面白い物を楽しまれている方、それぞれ、楽しまれていました。利用者の方から「何度来てもいいなあー、また来年も来たいなあー。」という感想をいただきました。

合同文化事業 「ベスト・ダンシング賞」 初受賞！！

支援員 松村 剛志

11月14日(火)に、太閤園

で第18回大阪救護施設合同文化事業が開催され、今年も参加しました！賀光寮は、7人の利用者の方がパフォーマンスに出演されました。今年は音楽に合



「ソイヤ!ソイヤ!ソイヤ〜!」
哀川翔とギバちゃんの役は誰にしよう?



咲きほこる花は、散るからこそに美しい〜♪

わせた踊りを発表しました。音楽は、一世風靡セピアの「略々道の上から」という曲を使わせてもらいました。練習では、曲に合わせての振り付けを考えるのが難しく、利用者の方と一緒に考えながら振り付けを完成させました。本番では、



「ベスト・ダンシング賞」獲ったぞ!!

練習の時よりも力強く踊られ、練習の成果を出しきつていただいたように感じました。その結果、パフォーマンス部門では「ベスト・ダンシング賞」をいただきました。また、展示の部では、七宝工芸アートクラブで利用者が製作したブローチや、陶芸科で利用者が製作した灯籠や壺などを展示し、昨年に引き続き2年連続で「最優秀賞」をいただき、とても驚きました。来年度は、展示の部で3年連続「最優秀賞」、そして、パフォーマンス部門で「最優秀賞」をいただけるように目指して頑張っていきます。

運動会 「よくがんばったで賞」 受賞

支援員 柏木 和紀

10月26日(水)に、藤井寺市民体育館で藤井寺市障害者施設連絡会主催で行われた「みんな集まれ大運動会」に参加しました。

今年で7回目の参加となり、すっかり常連です。

今回の種目で、「魚釣りゲーム」「テーブルボーリング」「空き缶積み」「玉入れ」「ストラックアウト」「バスケットゲーム」の6種目には、事前に決まった利用者の方が参加し、「お菓子食い競争」「サッカーゲーム」は、



高く高く…やばい！ お、落ちる～！

全員が参加しました。事前に参加者が決まっていた6種目には、各種目10人が競技し、その得点を競いました。みなさん、やる気満々で、例えば「空き缶積み」では、「一番高く積むんや！絶対に負けへん。」などたくさんの方の大きな声でそれぞれに宣言されていました。

全員参加の「サッカーゲーム」は、得点とは関係あ



イッケー!!

りませんでした。たいへん盛り上がりました。所定の位置にあるサッカーボールを4〜5m先にある2Lのペットボトルをのつている段ボールに当て、ペットボトルを落とすチーム対抗戦のゲームです。「用意、スタート！」の掛け声と同時に所定の位置にあるサッカーボールまで



「よくがんばったで賞」を受賞しました！

走り、蹴ります。ペットボトルを倒すと、次の人の手をタツチして交代し、アンカーは、襷をしてスタンバイ。ゲームに参加した利用者の方は、ペットボトルを倒すとハアハアと息切れしていました。表情はこやかでやりきった様子でした。普段のポプラの日常活動では、参加者全員が協力してするプログラムが少ないのですが、この日は、みなで力を合わせて頑張りました。その結果：優勝は逃しましたが、点数は総合2位で、「よくがんばったで賞」をいただきました。

駅前で「障害者週間」の啓発活動

支援員 大坪 馨

例年なかなかいい成績を残せませんでしたが、今年はいい成績を残せて、利用者の方々は、やりきった表情で藤井寺市民体育館をあとにしました。



緊張するなあ～、頑張ろう!!

12月6日(水)の大阪ふれあいキャンペーンに参加しました。このふれあいキャンペーンとは、12月3日「ヤンペーン」に定められた「障害者週間」を市民の方々に知っていただくための啓発活動です。今回、配布したウエットティッシュと絆創膏のセットは、藤井寺市にある日中系事業所部会合同で作成しました。配布場所は藤井寺駅周辺で、各事業所が各担当場所にわかれて配布をしました。ポプラは藤井寺駅南口担当で、利用者の方と職員各2人ずつの、計4人で参加しました。2人の利用者の

方は、最初は緊張してなかなか声をかけて渡すことができませんでしたが、市民の皆さんに「頑張つて、寒いのに大変やね」と声をかけられると、緊張がほぐれたのか積極的に手渡しされていました。たくさんの方に受け取っていただき、予定よりも早く配布物品がなくなつてしまいましたが、終了予定時間まで「ふれあいキャンペーンを実施しています。よろしくお願いします」と呼びかけました。

参加した利用者の方からは、「恥ずかしかったけど楽しかった」「頑張つた」の感想がありました。



楽しい賀光会バザール!!

実行委員長 森川 大輔
賀光会バザールは、賀光会で行われるさまざまな行事の中でも最大の行事です。普段、一度に、こんなにも多くの人が賀光寮に來られることはありませんが、この日はかりは、人であふれた賀光会の敷地内の風景は、まさにお祭り会場でした。地域のたくさんの方々にお越しいただき、笑顔があふれる、本当に楽しいお祭りとなりました。

今年第38回目のバザールとなり、歌や踊りの発表など地域住民の方々に参加していただいたり、また、地域の福祉事業所や福祉関係の団体の方々に模範店として出店していただいたり、地域のみならず作りあげる、楽しく、思い出に残るバザールになりました。賀光会は、地域とのかかわりを大切にしていきます。バザールの開催は普段、あまりかわりのない方々に、賀光寮を知っていただくよい機会になりました。



賀光会バザール大盛況!!

支援員 宮端 誠
今年も天候に恵まれ、秋晴れの暖かい一日となりました。当法人年一回のお祭り「賀光会バザール」を開催しました。今年の賀光会バザールは、例年どおり盛大に行いました。模擬店は、たこ焼き、焼きそば、ソフトクリームを始め、17種類の店があり、大盛況でした。アトラクションには、野外特設会場でパフォーマ



ンスしていただきました。また、昨年に引き続き今年も歌うまキッズの、藤井舞乃空さんが出演し、歌を披露された時は、あふれんばかりの観客で会場が賑わいました。来ていただいた皆様には厚くお礼申し上げます。



賀光会バザール

～賀光寮・ポップラ～

平成29年10月10日(月・祝)

まだまだ課題はありますが、より良い賀光会バザールを目指して職員一丸となって頑張っていくますのでよろしくお願います。



ご協力
ありがとうございます
ごさいました
地域の方々や関係する方々から、心のこもったご寄贈、ご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

【ボランティア】
個人ボランティアの皆様
ポップラ保護者会の皆様

【アトラクション】
和太鼓
ひびき様

歌うまキッズ
藤井舞乃空様
琉球民謡
涼風会様

腹話術
藤井寺キングダース様
音楽に合わせて踊り
藤井寺どんとこい様

【出店協力施設等】
松原市
若い肢体障がい者の会様
藤井寺西小学校様
まつしの様
わたと様
福島 菊一様



た。店番の利用者の方は、押し寄せるお客さんの対応に追われながらも、充実した様子でした。「お菓子釣り」では、魚の絵が描いてある紙袋にいろいろなお菓子を詰め、手づくりの釣り竿を使ってお客さんに袋を釣り上げて

もらいました。小さなお子さんや小学生に好評で皆さん夢中になって挑戦されていました。中には、何度も挑戦される方もいました。こちらも、すぐに完売となり、準備や店番をさしていた利用者の方も嬉しそうな様子でした。



社会体験 〜何がしているのかな〜

支援員 角田 由香

今年度の社会体験は、7月に舞洲へ行きましたが、秋は、長居公園内にあります大阪府立自然史博物館と植物園へ4グループ4日間に分けて行きました。私が参加しました11月10日は、天候に恵まれ、お散歩日和となりました。

博物館では、人間をとりまく自然について、しくみや歴史が学べました。入り口を抜けるとすぐに、マンモスや恐竜などの骨格標



バラ園楽しい！いい匂い!!

本がたくさん並んでいて、その大きさに皆、驚かされました。またきれいな色の蝶やハチ、ゴキブリなどの気持ちの悪い昆虫たちの標本も多くあり、ワイワイと話をしながら進み、ゲームやクイズにもチャレンジをしました。植物園では、

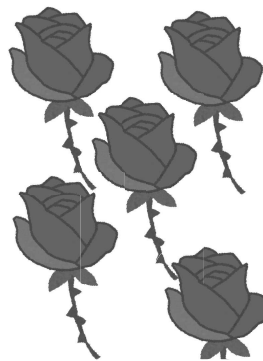


冷たいかなー♪(鉱石を触っています。)

バラ園に行き、少し時期外れだったのかあまり多くありませんでしたが、紫や赤、オレンジ色のきれいに咲いたバラを見ることができました。女性陣は、バラの花を次々と手に取り、匂いを嗅ぎあい楽しみました。そしてバラ園の近くにある池にいた見慣れた



幸せに気分になれるハートのアーチでパチリ♪



い鳥や亀の群れを見て、ここにこしながら大きな声で「亀さん、亀さん」などと言いながら亀や鳥を目で追いかけていました。いつもは、作業棟の中で過ごすことが多いポプラの利用者の方ですが、今回は、日頃あまり意識しない自然と触れ合うことができた社会体験となりました。

おやつ作り 〜初めて作った みたらし団子〜

支援員 的場 敏雄

11月21日(火)は、おやつ作りの日です。

メニューは、ポプラ自治会 ひまわりの会との意見も参考にして決めていますが、この日のメニューは、みたらし団子でした。このメニューは初めてですが、美味しくできましたでしょうか。前日に買い出し

担当の利用者の方と買い出しに行き、材料の準備は万端です。本来のみたらし団子とは違い、白玉粉を使つて作ります。お昼休みが終わわり、おやつ作りの担当の利用者の方は、三角巾、エプロン、マスクを着用し、手袋をはめてやる気満々



茹でています♪
白玉が上がってきたー♪



こねこね!こねこね!
(白玉粉を丸めています。)

のようです。白玉粉に砂糖と水を加えて手でこねて丸めていきますが、小さいがあるのは、手作りならではのです。丸めた団子を茹でると団子の出来上がりです。醤油、みりん、砂糖、片栗粉のみたらしのタレも作りました。茹で上がった団子とみたらしのタレを絡めた後に、器に3個づつ盛り付けて出来上がり。生産活動が終わった後のお茶の時間に、出席されていた利用者の方々に召し上がっていただきました。おいしいみたらし団子に出来上がっていました。

担当の利用者の方が一生懸命丸める姿は、とても印象的でした。

犬には生命力豊かな意味があるそうです

支援員 松村 剛志

平成30年の干支は「戌」です。毎年、年末は、干支の土鈴作りで大忙しです。今年も500個作りました。毎年、土鈴は賀光寮のオリジナル作品です。今年の干支の土鈴のモデルは、利用者の方が色々考え

ぬくもりある縁起物

藤井寺の施設 犬の土鈴づくり

障害者や地域で生活している藤井寺市の社で、入寮者やボランティアが困難な人が暮らす 会福祉施設「賀光寮」イアラが来年の干支



作ってくれました。

土鈴は、賀光寮オリジナルの型抜きをするので、ほぼ同じ形のもので出来あがりですが、色塗りは、ひとつひとつ手作業なので、戌の表情は様々になっています。この機関紙「きずな」の1面の土鈴も、もちろん賀光寮謹製の土鈴です。いかがでしょうか？どんな表情にみえますか？



毎日新聞 平成29年12月18日 掲載

「戌」にちなんだ犬の土鈴づくりに追われていく「写真」「一つ一つ手づくりで、笑っているような表情もある、ぬくもりいっぱい仕上がりになった。近くにある藤井寺の住職、森快隆さん(75)が来て「福」と「寿」の文字を入れた。土鈴は、入寮者が熱心に参詣していたのが縁起物として同寺で販売される。個々500円。土鈴は縦約10cm、横約8cm、奥行約3cm。お振ると「ごんごん」という音がする。賀光寮でデザインから型抜き色付けをしている。森さんは「社会復帰の助けになればと思う制作委託している。みなさまのご多幸を祈り文を入れた」と話している。

もちつき大会

実行委員長 伊藤 昌弘

すつかり、賀光会の冬の恒例行事となりましたもちつき大会は、今年、12月17日に実施しました。今年度も、昨年と同じくもち「五平餅」豚汁」の3種類を作り、最後は、ビンゴ大会で盛り上がりました。毎年、餅米は寄附でいただいています。第1回もちつき大会では、45kgだったものが、第6回目となる今年度は、倍近い量の80kgの餅米をいただき、それを全



ペタン、ペタン♪(小さい杵もあります)



片手でも楽勝～！ オリヤー!!

かまどを3台、せいろを8つ使って、次から次へと餅米を蒸かし、大人から子供までみんなに餅をついていただきました。

五平餅のタレは、オリジナルです。「みそ」「しょうゆ」「さとう」「みりん」「ごま」など色々な調味料を使い、炭火でこんがり焼いていただきました。

この日は、気温が10度を切る寒い日でしたので、温かい豚汁が、最高でした。今年度も、たくさんの方々のボランティアの協力のおかげで、実施することができました。みなさん、ありがとうございました。

編集後記

寒い日々が続きますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。今回の機関紙「きずな」第52号は、10月12月に行った行事を中心に紹介させていただきました。

おやつ作りでは、11月の内容を紹介させていただきましたが、今年度は、これまで、4月、ホットケーキ、5月、クッキー、6月「フルーツクレープ」、7月「プリンアラモード」、9月「たこ焼き」、10月、スイートポテト」を作りました。特に10月、スイートポテト」では、ポプラの畑で採れたさつまいもを使って、調理しました。出来上がった「スイートポテト」を利用者がおいしそうに食べている姿は、印象的でした。8月と12月は、調理実習を行いましたので、その内容について次号の「きずな」でご紹介させていただきます。